

東海大学医学部付属病院では、
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を使用して
下記の臨床研究を行なっています。

下記臨床研究は「東海大学医学部 臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で、試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますので、ご了承願います。

本研究で収集したデータは二次利用に至る可能性があります。この場合、新たに研究計画書を作成し、臨床研究審査委員会の審議を経て、新たに研究を行います。

【研究課題名】

経カテーテル大動脈弁留置術後患者における上腕筋困評価の臨床的意義に関する検討

【研究の目的】

下記の試料・診療情報等を使用し、上腕筋困が低い経カテーテル大動脈弁留置術後患者における運動機能および日常生活動作能力の特徴について解析することを目的としています。

【研究の対象となる方】

2019年4月1日 から 2020年3月31日 までの間に、当院に入院した以下の条件に該当する方です。

2019年4月1日 から 2020年3月31日 の間に、経カテーテル大動脈弁留置術のために東海大学医学部付属病院に入院し、心臓リハビリテーションを受けた患者

【利用期間（研究実施期間）】

実施許可日 から 2022年12月31日 まで

【研究に用いる試料・診療情報等の項目】

・診療情報：

性別、年齢、既往歴、身長、体重、肥満度（Body Mass index）、冠危険因子、服薬情報、血液検査所見、心エコー検査所見、心房細動の有無、末梢動脈疾患の有無、慢性閉塞性肺疾患の有無、ペースメーカーの有無、冠動脈疾患手術の有無、腎代替療法の有無、心臓手術の死亡率や合併症発生率の評価（The Society of Thoracic Surgeons score、Clinical Frailty Score）、心不全の重症度判定（NYHA 分類）、日常生活動作能力の評価（Barthel Index）、退院後1年以内の再入院率および死亡率、上腕筋困、握力、身体機能評価（Short Physical Performance Battery）、6分間歩行距離

・試料：

該当なし

【利益相反に関する事項】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

【問い合わせ先】

東海大学医学部付属病院（電話：代表 0463-93-1121 内線：8713）

研究責任者：理学療法士 加藤 竜馬 担当者：理学療法士 加藤 竜馬